

明るい町づくり

一般会計 三億三千八百三十万円

三月の議会定例会で、昭和四十六年度の予算案が可決されました。「産業の振興」「住民福祉の向上」「教育施設の充実」の三本の柱を中心とした、一般会計の予算総額は、歳入歳出とも三億三千八百二十九万九千九百九十九円となっています。



衛生費

赤ちゃんはすくすくとそだっています

八日市場に塵芥処理場ができませんので、五百万円を負担金をはじめ、母子保健衛生や予防接種、環境衛生費として、二千二百五十一万七千円が計上されています。

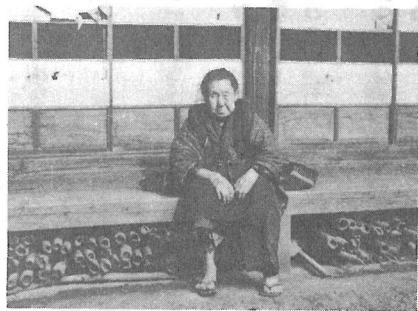
民生費

八十才以上の老人に

二千円のプレゼント

新しく敬老報償費として、五十二万一千円がもうけられました。これは、町に一年以上住んでいる満八十才以上の老人に贈られるものです。毎年敬老の日の九月十五日に、一人につき二千円の祝金がプレゼントされます。

青少年健全育成のための青年館建設費として、二百八十二万七千円をはじめ、老人クラブや青少年グループの活動費補助金など、総



94才の篠本の大木みへさん



土木費

町道舗装急ピッチ

地域開発の基盤となる道路新設改良費は、15,29万2,000円となっています。現在小田部には、20戸の町営住宅がありますが、さらに20戸新設されます。住宅建設費 1,250万円など、総計 4,268万7,000円となっています。

特別会計別	46年	45年(当初)	比較
国民健康保険	千円 107,554	千円 102,969	千円 4,585
と 場	51,453	46,921	4,532
有線放送	16,053	47,952	△ 31,899